

「私たちは、あの町並みを忘れない～震災メモリアルタウンパーク」プロジェクト

1. はじめに: 背景

3月11日の大震災とこれに続く大津波は、三陸の町々の全てを奪い去った。

しかし、きっとそれぞれの町の再生・復興のプランが様々に出され、この厄災から、これら三陸の町々が、日本の底力を発揮して新しい町として蘇ることを、私たちは信じている。それは、関東大震災や昭和20年の大空襲等、私たちの町が完膚なきまでに崩れ去り、焼き払われてしまってさえ、その後の復興の姿を今に見れば明らかだろう。向こう50年草木も生えない、と言われた被爆地広島町の現在を、私たちは知っている。

そう、私たちは、この大津波に何もかも奪われた三陸の町が復興し、蘇ることを信じている。

しかし、私たちは町々が新しくなっていくうちに、いつしかあの町並みを記憶の彼方に忘れ去ってしまうのではないだろうか。復興を望み、急ぐなかで、ふるさとの町並みを心の中から失ってしまうのではないか、ということをおそれている。阪神・淡路大震災後の復興は実に目覚ましいものですが、一方で例えば暖かい人情の町、長田の面影は今どこにもありません。

3月の11日までにはあった、あの暖かい町並み。世界一の塔も、最古の木造建築も、もちろん世界遺産もなかった¹けれど、そこには暖かい市井の人々の何でもない日常の生活があった。おじいさんも、おかあさんも、仲間たちも、皆が通った小学校があった。毎日薬をもらったお医者さん。へそくりをためた郵便局。夜毎飲み明かした居酒屋があった。それら小さな日常が皆奪われ、新しい町に蘇る中で忘れ去られることは耐えられない、と思い、本提案を行うものです。

2. 提案内容

仮に「震災メモリアルタウンパーク」と名付けました。

未来を見据えて、復旧と復興の町造りにまい進しようとしている今、あえて過去をき

¹ なお、岩手県の中尊寺などの寺院と周辺の遺跡からなる「平泉の文化遺産」は、本年5月ユネスコの諮問機関「イコモス」が検討した結果、「世界遺産に登録することがふさわしい」とする勧告をまとめた。この結果、6月パリで開かれるユネスコの世界遺産委員会で世界遺産に正式に登録される見通しが強まりました。

ちんと取り置くアンカーのように、しっかり自分たちの「あの」ふるさとを心に刻むためのものです。なくなった町並みをミニチュアで、しかしきちんとウォークスルーできるサイズに(下記施設を参考に概ね 25 分の 1 を想定)再現し、残そうと言うものです。

2. 1 (参考1) 名所旧跡・歴史建造物のミニチュア施設

東武ワールドスクウェアは、栃木県日光にあり、人類の貴重な遺産である世界の有名建築物を後世に残すため敷地内に 25 分の 1 の縮尺で再現したものです。現在、

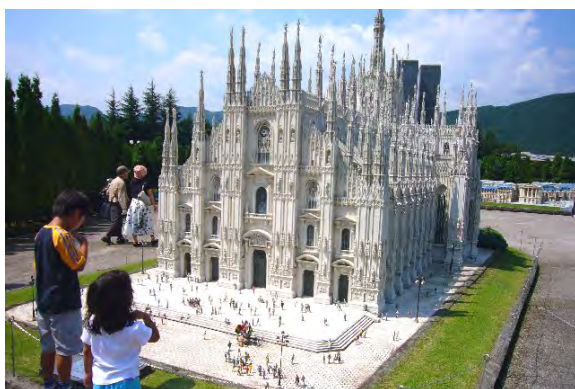


図 2 東武ワールドスクウェア 展示物の例



図 2 おのころランド 全景

100 あまりの建築物が展示されています(図1²)。

同様の施設は兵庫県淡路島にもあります。淡路ワールドパーク ONOKORO(おのころ愛ランド)という公園にある、ミニチュアワールドというものです(右図2³)。ここには 10 基の世界遺産を含む 18 基の有名な建物が展示されています。

2. 2 私たちの提案する「震災メモリアルタウンパーク」

ピサの斜塔も凱旋門もありませんが、宮古には、陸前高田には、気仙沼には、南三陸には、石巻には. . . .、世界的な名所旧跡に勝るとも劣らない、港と海の町がありました。この何でもない地域の、普通の町並みをそっくりそのまま再現するという提案です。

今はこのように(次ページ図 3 左)なってしまった町並みを、震災と大津波が押し寄せる前(次ページ図 3 右)の姿⁴に再現して残し、これを再生復興のためのメモリアルパ

² 小さな AIRCARGO のがんばる中身!?, より。

<http://jcexp.jp/suzukiblog/archives/2006/08/post-386.html>

³ [みんなカラ]スズキスイフトミニチュアワールド①(淡路ONOKORO)、より。

<http://minkara.carview.co.jp/userid/214810/car/207447/1254129/photo.aspx>

⁴ あおいのオフィシャル ブログ、より。 <http://ameblo.jp/tyrano/entry-10833099008.html>

ークとします。



図 3 気仙沼商業地(左被災後、右被災前)

もちろん全地域をすべて再現することはできません。

当然、ある部分で切り取らないといけません。例えば誰もが通った小学校や市場、役場を中心にある区画で再現し、残します。あまりに小さな机上のサイズでも、またはやりのCGでもなく、実際に人が歩いて懐かしめるよう、(先行する上記2つの施設にならって)1/25モデルとしたいと思います。

2.3 (参考2) 阪神・淡路大震災のメモリアル施設

平成7年1月17日の阪神・淡路大震災でも、近畿圏の広域で被害が生じ、特に震源に近い神戸市市町地の被害の様子は甚大で、日本国内のみならず世界中に衝撃を与えた災害であった。この大震災の記念として、いくつかの施設が建てられています(図4⁵、5⁶)。



図 4 野島断層保存館



図 5 神戸港震災メモリアルパーク

⁵ 野島断層保存館・阪神淡路大震災震源地の活断層 壁紙写真、より。

http://kobe-mari.maxs.jp/awaji_city/nojima_active_fault.htm

⁶ 神戸港震災メモリアルパーク写真集、より。

http://kobe-mari.maxs.jp/kobeport/earthquake_memorial.htm

ただ、これらはみな、地震その物の記録として断層や、大きく被害を受けた道路などをそのまま保存し、地震の記録を後の世に残すためのものであって、その意味では広島原爆記念館と同じ文脈のものなのです。この点に関しては、現在三陸の被災地でも、陸に上がってしまった船舶を、記念としてそのまま残すことも考えられているようです(図 6⁷)。



図 6 津波で内陸部に上がった巨大な船舶

3. 私たちの提案

確かに津波や地震の被害の凄まじさを後世に残すのは意味があり、神戸のメモリアルパークやあるいは広島原爆記念館のような形で、津波や地震の爪痕を残すものをそのまま保存し、記念物とすることは行われるのでしょうか。しかし、それらはいくまで自然や戦争の恐ろしさを後世に伝えるものであるのです。

私たちが目指すものは、従来作られてきた、そのような「教訓とするもの」ではありません。がれきが片づけられ、整地され、新しい木が植えられ、家が建ちビルがそびえるようになり、新生、復興の町が形作られて行く。このとき、珠算ではないですが「願いましては」とスタートするのはいいとして、しかし「御破算に」と、私たちの精神や文化、あるいは歴史がすべて消されてしまうものではないと思うのです。これらすべては、あの町並みの生活にありました。私たちは、決して3月11日以前にあった生活を忘れないために、復興の新しい町造りに乗り出すためにも、かつての町並みを残したいと思うのです。

これが、「震災メモリアルタウンパーク」と名付けたものです。

⁷ 中村宏「気仙沼調査記録」より

http://dl.dropbox.com/u/1829605/data/report20110428_Kesenuma_full_ver.pdf

被災した主だった町々に作られる、在りし日の我が町角の姿を、いつまでも心だけではなく、実際に私たちの目の前に蘇られる、記念碑なのです。

4. 具体的な工程など

- 1) 設置場所の選定: 岩手、宮城各 2～3 ヶ所、福島 1 ヶ所を選定。主な港町、被災者数と破壊規模から選定。
- 2) 選定場所から、メモリアル区画を選定: 各地域の住民の投票で選ぶ。この場合、住民のもっともなれ親しんだ施設、役場、郵便局、小学校、市場などを中心にエリア候補を用意する。
- 3) メモリアルパークの規模を、概ね50m×50mとすると、実寸では(1/25として)1.25km四方となる。但し、このサイズに関しては、今後の検討による。
- 4) Google に保存された震災前の映像や、各報道機関、データベースなどの写真・動画をベースに、モデルを作成。住民の意見を入れて、より詳細なものにする。

なお、事業規模については、建設面積と設置場所の数でかなり変動があると思われます。参考まで、東武ワールドスクウェアは総工費28億円でしたが、これは様々なショップやレストラン、付帯設備なども含んだものです。また、「野島断層保存館」の野島震災復興記念公園は、レストラン・物産館、震度7が体験できる地震科学館等も含め、総事業費は57億円です。阪神・淡路大震災のメモリアル関連施設はほかにもいくつかあり、それら震災メモリアル関連総事業費は100億円を超えるものと考えられます。

5. 最後に

多くの被災地の海岸沿いの町並みは津波に奪われたため、がれきの更地のような様相を呈しています。この土地をどう活用するのか。公共施設を設置し、住居は海から離れた高台に、との声もあります。

少なくともこの震災メモリアルパークは、この更地のようにってしまった土地に、願わくば、モデルとなった町並みのあった場所に設置されればと思います。その暖かい、在りし日の町並みを見ながら、新生・復興の町を作って行きたいと思います。

以上